

済美幼稚園の民間移管  
済美こども園への移行に向けて

第1回三者協議会



学校法人 西大寺学園

# 法人の概要

法人名称 : 学校法人 西大寺学園

法人所在地 : 奈良県奈良市西大寺芝町1-1-9

代表者名 : 理事長 谷口 偉

設立 : 昭和25年1月

法人運営園 : 西大寺幼稚園



## ～はじめに～

この度、私たち学校法人西大寺学園が済美幼稚園の民間移管先法人に選定いただきました。

我々の法人は、姉妹園も含みまして奈良市で運営する学校法人西大寺学園の西大寺幼稚園、京都府精華町で運営する学校法人山城精華学園の光が丘幼稚園、東大阪市で運営する学校法人源氏ヶ丘学園の幼保連携型認定こども園源氏ヶ丘幼稚園、奈良市で運営する宗教法人西大寺の西大寺保育園と4法人4園あり、『いきいきとした人間性豊かな子ども』の育成につとめそれぞれの地域で貢献しております。今まで培ってきた実績、経験をこの度の民間移管においても活かしてまいりたいと考えております。

我々が目指す『いきいきとした人間性豊かな子ども』とは、心身共に健康で、明るくのびのびとした子どもであり、自分から進んで活動する意欲のある子どもであり、個々の持つ能力を精一杯表現できる子どもであり、そして、美しいものは美しいと感じる心情豊かな子どもであり、何事にも喜びを持ち、感謝の出来る子どもであり、友だちとも仲よく遊び、思いやりのある子どもです。

そのために、次の三つの保育を基本として、保育にあたりたいと思います。第一に、子どもは一人ひとり、かけがえのない尊い『宝』である事を基本理念として保育にあたります。第二に、この『宝』は、無限の可能性を持ち、磨けば、ますます光輝く宝と考えます。そのため、保育の姿勢は『引き出す保育』とし、子どもの持つ可能性を十分に引き出していきたくと考えます。第三に、保育の態度は『笑顔の保育』でありたいと思います。愛情いっぱい子どもたちの保育にあたり、笑顔であふれる場でなければならないと思います。そして、その環境のもとに『いきいきとした人間性豊かな子ども』が育っていくものと考えています。

まずは、奈良市の公立園の保育、そして済美幼稚園が今まで培ってきたものを継承できるよう1年間かけて学ばせていただきます。そしてこれらを大切に引継ぎ、生かして、子どもたちが一人ひとり輝くようなこども園を目指し、職員一同努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



# ご挨拶



## 理事長

谷口 偉 (たにぐち すぐる)

済美幼稚園保護者の皆様、このたび民間移管先法人に選定されました学校法人西大寺学園理事長の谷口偉(僧名：光正)でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

済美幼稚園は昭和29年に開園以来、地域の皆様とのつながりを大切に築きながら現在まで園運営され、済美小学校運動場と済美幼稚園園庭がつながっているなど、幼小連携も行われているなど

歴史と伝統のある幼稚園であると伺っております。当法人といたしましても、今まで培ってこられた教育内容や地域や小学校との連携をしっかりと継承して、安心して通っていただけるようにして参りますので、まずはご安心ください。また、愛と笑顔あふれる「和顔愛語」の保育、「いきいきとした人間性豊かな子ども」の育成に努めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 園長予定者

谷口 光毅 (たにぐち こうき)

～子どもと共に考え共に育つ共育者でありたい～

これから子どもたち、保護者様、地域の方、そして職員の方々との新たな出会いがあることを嬉しく思います。

私は、園児数315名の幼稚園で副園長を務めながら、乳幼児の教育振興に様々な立場で真剣に向き合って参りました。

生まれも育ちも奈良、家庭では子育てに奮闘中です。実績と若さを活かしながら、皆様と共に保育の引継ぎを進めていきたいと思っております。子どもたちにとって「楽しい」「嬉しい」と感じる経験はもちろん沢山して欲しいですが、園での集団生活では「哀しい」「悔しい」経験も子どもの心が育つ上で大切であると私は考えます。先生が子どもと共に気持ちを味わう覚悟をもつことで、子どもは幸せな気持ちを抱きながら、なかまとともに心豊かにたくましく、「いきいきとした人間性豊かな子ども」に育ってくれると信じてます。

「光が丘幼稚園」副園長 / 「学校法人山城精華学園」理事 / 「学校法人蒲生学園」理事

/ 「私立幼稚園の子育て情報雑誌こころのねっこ」編集委員 / 「京都府私立幼稚園新規採用教育研修会」運営委員 / 「全国乳幼児教育関係者交流会」実行委員



## 副園長 兼 主幹保育教諭予定者

影山 万希子（かげやま まきこ）

私は、学校法人西大寺学園で20年以上勤務して参りました。クラス担任を経て教務全般も経験し、子どもだけでなく、保護者様との関わりも大切にして参りました。

日々子ども達が元気で健康に過ごせるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、笑顔の絶えない園にしたいと思っております。また、保護者様がお子様を安心して預けられるような環境作りに力を注ぎ、地域の皆様とも子ども達の成長を見守っていただけるよう努めて参ります。どうぞ、宜しくお願い致します。



## 主幹保育教諭予定者

黒木 知子（くろき ともこ）

私は、公私立の保育園や私立幼稚園で保育士として勤務し、さまざまな年齢の子どもたちと関わる中で、多くの学びを得てきました。

保育園で勤務していたときは地域や保護者との連携を大切にし、幼稚園で勤務していたときは子ども一人ひとりの個性を尊重しながら、主体性をはぐくむ保育を実践してきました。こうした経験を通じて、乳児期から幼児期へと続く成長の流れを大切にし、地域や保護者様と共に支え合う「つながる保育」の大切さを実感しています。

子どもたちがのびのびと成長し、その可能性を存分に広げられる環境をつくるため、温かいこども園づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## ■ 済美幼稚園の運営にあたって

済美幼稚園に初めて訪問させていただいた時、これまでの園の長い歴史を感じさせる大きな桜の木や小学校の校庭とつながった園庭、そして、ビオトープで楽しそうに遊ぶ済美幼稚園の園児と済美小学校の児童の姿を拝見しました。

幼小連携の重要性が改めて謳われる今日、行事への参加等イベントとしての交流に留まらず、園児と児童との日常的な交流が日々の保育の中に取り入れられている済美幼稚園の環境構成は、まさに私たちが理想としている幼小連携の形でした。

また、済美幼稚園が開園してからの長い歴史の中で、これまで保護者様と子どもたち、地域、職員で築き上げてきた信頼関係と良質な保育内容、保育環境をこれからも守り続けたいと考えています。

今回の民間移管による認定こども園への移行については、保護者の皆様や地域の皆様にとりましての不安はいかばかりかと存じますが、皆様に大切に見守られてきた幼稚園ですので、民営化によって影響が出ないように、現行の保育を継続的なものにしたいと考えています。



### ○引継ぎ内容の具体例

- 子どもに関する健康・発育などの記録を基に、子ども一人ひとりの生活の様子や状況などを共同保育などにより引継ぎを行います。
- 教育・保育目標や計画及び指導計画、各クラスでの教育・保育内容や子どもの受入れ、引き渡しなどの日々の教育・保育の流れ、年間行事、月間行事、お弁当、保健衛生、施設管理、安全対策、保護者様・地域との関係等施設運営全般について引継ぎを行います。
- 「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」の理念を踏まえ、夢と希望を持って成長することができるように卒園後の就学などを含め子どもが地域で育っていくことを目的とし、奈良市立こども園カリキュラムに基づいて、教育・保育を実施いたします。また、職員につきましては経験等も踏まえバランスの取れた職員配置をします。
- 奈良県、奈良市が主催する研修会には積極的に参加します。研修に参加した職員は園全体に共有することまでを研修と考え取り組みます。

「済美幼稚園の民間移管に向けた保護者アンケート」拝読させていただきました。可能な限りご意見を園運営に反映してまいります。また、保護者様との連携、協力関係を築き、済美こども園をともに築き上げていくことを目的として、保護者様の声を真摯に受け止めます。

# ■移管後の運営について提案内容（案）

本内容については、あくまで現段階の法人としての案です。

## ○開園日・開園時間と特別保育事業

### 開園日・開園時間

年間開園日数	開園日数：約300日 休園日数：約70日		
休園日の設定	1号認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土、日曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日</li> <li>・春休み（3月20日～4月6日）</li> <li>・夏休み（7月21日～8月31日）</li> <li>・年末年始（12月21日～1月7日）</li> </ul>	
	2・3号認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日</li> <li>・国民の祝日に関する法律に規定する休日</li> <li>・年末年始（12月29日～1月3日）</li> </ul>	
開園時間 保育時間	平日	最大開園時間	7:00～19:00
		保育時間（1号）	8:30～14:00
		保育時間（2・3号短時間）	8:30～16:30
		保育時間（2・3号標準時間）	7:30～18:30
	土曜日	最大開園時間	7:30～18:30
		保育時間（1号）	原則休園
		保育時間（2・3号短時間）	8:30～16:30
		保育時間（2・3号標準時間）	7:30～18:30
	日曜日 祝日	開園の有無	休園
		最大開園時間	～
		保育時間（1号）	～
		保育時間（2・3号）	～

※土曜日の保育の利用条件については、保護者様の土曜日の就労確認ができる書類（就労証明書など）を提出いただき、保育要件を確認したうえで、家庭での保育が困難な場合に利用が可能となります。

### 特別保育事業

1号認定子どもに対する 幼稚園型一時預かり事業 （預かり保育）	【通常】
	7:00～ 8:30（1回100円） 14:00～18:30（1回500円+おやつ代100円）
2・3号認定子どもに対する 延長保育事業	【長期休業中】
	7:00～8:30（1回100円） 8:30～17:00（1回500円+おやつ代100円） 17:00～18:30（1回100円）
	【保育標準時間認定（11時間を超えて保育を利用する場合）】
	7:00～ 7:30（1回100円） 18:30～19:00（1回100円）
	【保育短時間認定（8時間を超えて保育を利用する場合）】
	7:00～ 8:30（1回100円） 16:30～18:30（1時間100円）

## ○保育料以外の保育にかかる費用

項目	費用	内容
教材費	500円／月額	日々使う教材の費用（移管前と同様）
行事費	300円／月額	季節の工作で使用する画用紙等（移管前と同様）
特別行事費	実費	遠足、小学校給食体験等（移管前と同様）
保育用品	実費	カラー帽子、リュックサック、上靴等（移管前と同様、次ページに詳細記載）
給食費 (1号認定)	6,300円／月額	おやつ含まない 1号認定の子どもに限り、弁当持参か給食かの食事の提供方法は保護者による選択が可能です。
給食費 (2号認定)	8,000円／月額	おやつ含む (3号認定は保育料に含まれているため給食費の設定はありません。)

- 移管前と可能な限り同様の行事をおこないます。
- 費用については、物価上昇等により変動する可能性があります。
- 保護者負担につきましては三者協議会において協議し、いただきましたご意見に十分配慮して最終決定します。



# 3歳児～5歳児標準服・制帽及び保育用品予定一覧表

	品名	金額	業者名	備考
標準服	○ズボン（男）	市販品をお買い求めください。		紺色半ズボン
	○スカート（女）	〃		紺色プリーツ つリスカート
	○ベスト	〃		紺色バイネック
	○セーター	〃		紺色バイネック
	○ブラウス	〃		白色 半袖・長袖
	○ポロシャツ	〃		白色 半袖・長袖
	○体操服	〃		白色胸チャック 半袖・長袖
	○体操ズボン	〃		紺色 半ズボン
	★盛夏服（6月～9月）	男児 1,650円 女児 1,800円	眞野株式会社	S～LL
制帽	★黄色帽子（通年）	1,300円	眞野株式会社	52・54・56・58
保育用品	★リュックサック	3,400円	眞野株式会社	
	★道具箱	460円	ひかりのくに	
	★カスタネット	340円	ひかりのくに	
	★カラー帽子 (UVガード着脱式)	920円	ひかりのくに	L1,090円
	○はさみ	480円	ひかりのくに	
	○のり	250円	ひかりのくに	
	○スマック	2,130円	ひかりのくに	
	○クレパス	620円	ひかりのくに	16色
	○上靴	市販品をお買い求めください。		白地 周りはカラー可
一括購入 園で	★氏名ゴム印	200円	藤井書房	
	★名札	140円	ひかりのくに	
	★雑費袋	70円	ひかりのくに	
	★出席ノート・シール	700円	ひかりのくに	

★印 全員同じ物 幼稚園から発注  
○印 市販品でも可  
費用については実費負担になります。

体操服、靴等現行のものを変更せず採用する予定です。  
ごきょうだいに卒園児がおられる場合、譲り受けて使用いただいても構いません。

# ○その他の計画（案）

## 【出席確認】

連絡アプリ等による登園欠席確認を導入し、保護者負担の軽減を図ります。

ICTシステム（登降園、預かり管理）buscatch利用予定です。

## 【保育の見える化】

保育の内容や子どもの成長の様子を保護者の皆様に分かりやすく伝えることを目的とし、

園内掲示板やホームページを作成予定です。

ホームページの活用例としては、在園児保護者様向けにパスワード付きブログを検討しています。

※園児個人情報同意書を作成し、保護者の同意の了承を得た際

## 【慣らし保育】

預かり初期には慣れ親しんだ環境から人も場所も違うところで過ごすという心理的ストレスに加え、集団生活に伴う疲労(身体的ストレス等)により、事故や病気(感染症等)のリスクが高くなると考えられています

### ・ 2号認定

入園児のお子様には慣らし保育を行います。

### ・ 1号認定

新入園児は幼稚園に慣れるまでの期間として1週間程度、午前保育をおこないます。

進級児については、既に園での生活を経験しているため、午前保育を実施しません。

## 【午睡について】

3, 4, 5歳児は午睡無し（子どもの様子や在園時間によっては実施する場合があります。）

## 【給食】

・ 東棟に、給食室と食育の一環としてランチルームの設置を予定しております。

・ 給食は毎日違う献立で提供し、季節や行事に合わせた楽しい食事を提供したいと考えております。

・ 1号認定について

給食かお弁当かの選択は、アレルギー対策や安全管理の面から1ヶ月単位での選択とします。

長期休業中は事前申し込み制で日額徴収します。（日額360円、上限月額6,300円）

## 【外部講師】

1号認定降園時間に合わせた14時頃、保護者様の選択による充実した内容の課外教室の取り入れを検討します。

## 【乳児について】

・ おむつ、エプロン、手口ふき（0,1歳）

→衛生管理や保護者負担の軽減、保育士の負担軽減による保育内容の充実のため、サブスクの利用を検討しています。

・ 午睡用シーツとタオルケット類については個々に用意してください

## 【その他】

保育が落ち着き次第、園の運営状況を踏まえてこども誰でも通園制度の取り入れを検討します。

# ■施設整備等の計画概要

整備時期：令和8年7月～令和9年3月予定

3号認定（0～2歳児）子どもの受入時期：令和9年4月予定

（令和9年4月からの受入れを目標としていますが、施設整備の進捗によって受入完了時期が令和10年4月となる可能性があります。）

※令和8年4月からは3歳児の受入れを開始します。

## ○施設整備の方法

『旧園舎一部解体』→『新園舎整備』を検討しています。

## ○具体的な整備計画

### ・ 駐輪・駐車スペース

駐車場7台分程度、駐輪場の設置を予定しています。

（1号認定の方の送迎につきましては原則、徒歩や自転車での通園のご協力をお願いします。）

### ・ セキュリティ強化など

正門は、位置を北に移動させアプローチ部分を広げます。

防犯カメラを設置し、子どもたちが安心して過ごせるよう防犯体制を強化します。

### ・ 保育場所について

本館に0歳児から5歳児の受け入れをします。1階に0歳児から3歳児の保育室を配置し、園庭に発達に応じた専用の屋外遊び場を設けます。

幼児保育室は内装改修を考えています。

### ・ スペースの有効活用のため、屋外プールを撤去し屋外遊びや活動等の場に変更します。夏季は、組立プールを設置します。

### ・ 東棟は改修工事を行い、給食室等を設置します。

### ・ トイレは衛生設備機器も更新しバリアフリーにします。

### ・ 屋外の倉庫は外壁改修を行いたいと考えています。

### ・ 園児による記念品の絵を園内に飾ることが出来るスペースの確保を検討しています。

### ・ 施設整備が始まると、保護者会、子育て支援（うさぎ組、いないいないばあ等）をクラス教室やリズム室で行います。

## ○安全管理について

工事の際に重機や大型車両が出入りする場合等は、車両・歩行者を適切に安全に誘導するために、警備員を配置予定です。令和8年度以降、工事業者が決定し、施設整備内容の詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

## ○施設整備の考え方

全体整備の目的は、安全・安心はもちろんの事、子どもたちが長時間を過ごす生活や遊びのための大切な場所であることをふまえ、工事による負担をできる限り軽減します。

三者協議会や近隣説明等により、保護者の方や地域の方と連携を密に取り、随時ご相談させていただきたいと考えております。